

現地視察

日本の森林と里山の現状

日時：平成20年8月3日（日） 10:00～15:00

講師：竹中 千里、木平 英一（あいち海上の森大学コーディネーター）

概況



日本の森林と里山の現状を知るために、海上の森、怒田沢県有林、列状間伐実施現場及び木材市場の見学を行いました。

●海上の森の見学

シンボリック的存在であるシデコブシを始め、海上の森の様々な自然を視察しました。また海上の里では、多度神社でお参りをを行い、里山サテライトで昼食をとりました。

●怒田沢県有林の見学

ここでは、愛知県の県有林の歴史と保存林や複層林の取組みの説明を受けました。

●列状間伐実施現場（豊田市御内町）の見学

間伐を効率良く行い低コスト化を実現するため、高性能林業機械を用いた列状間伐を実施している現場を視察しました。高性能林業機械の説明を受け、受講生達は興味深く聞き入っていました。

●豊田森林組合 木材市場の見学

伐採され、丸太となった木材が集まる木材市場の見学を行いました。ここではスギやヒノキの利用や木材価格について、また流通方法などの説明を受けました。